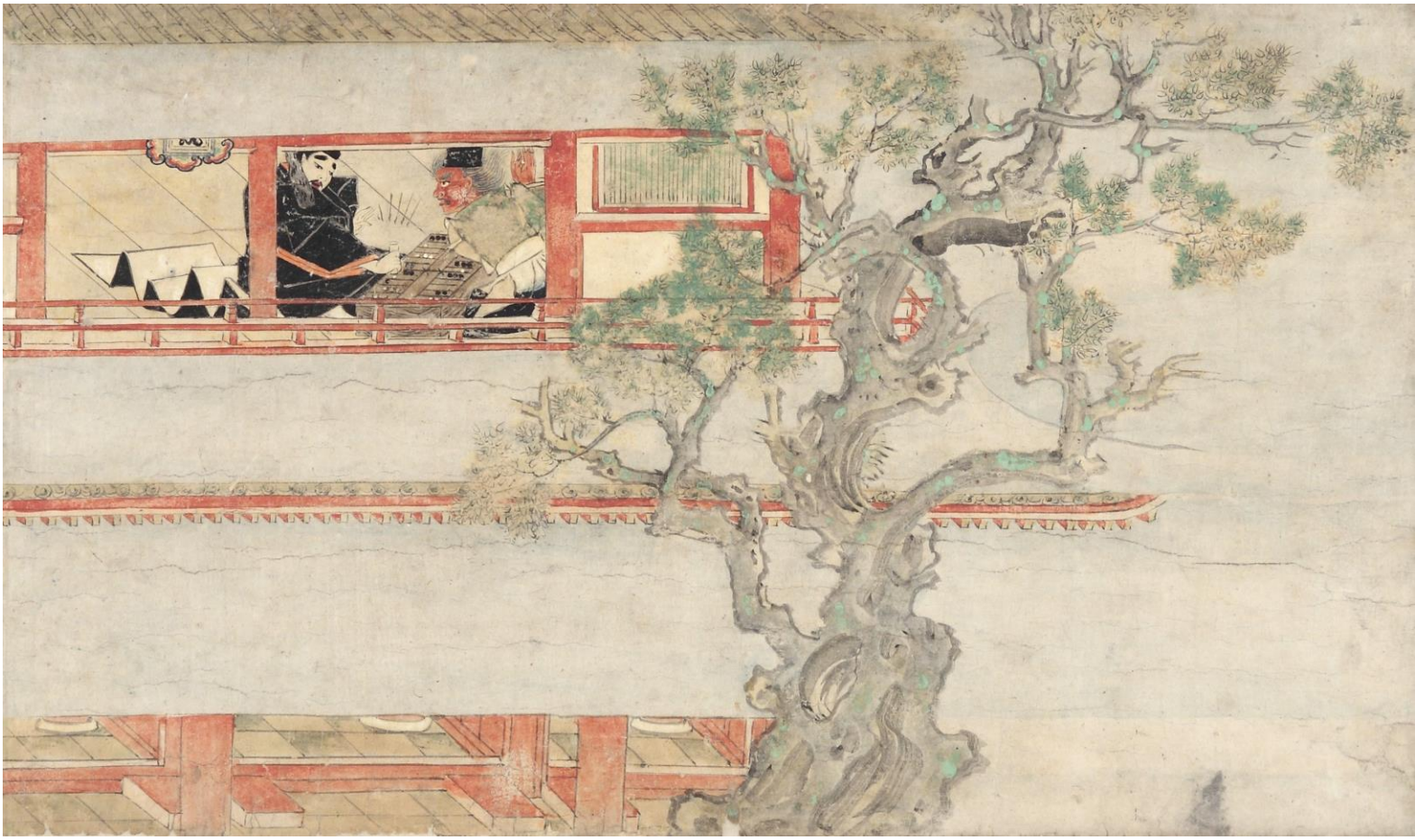
プレスリリース

令和５年度秋季展
秘蔵！重要文化財「長谷雄草紙」全巻公開　―永青文庫の絵巻コレクション―



重要文化財「長谷雄草紙」（部分）　鎌倉～南北朝時代（13～14世紀）　永青文庫蔵

■ 開催概要

展覧会名：**令和５年度秋季展**
秘蔵！重要文化財「長谷雄草紙」全巻公開　―永青文庫の絵巻コレクション―

会　　期：2023年10月7日（土）～12月3日（日）

会　　場：永青文庫

開館時間：10：00～16：30　（入館は16：00まで）

休 館 日：毎週月曜日（ただし10/9は開館し、10/10は休館）

入 館 料：一般1000円、シニア(70歳以上) 800円、大学・高校生500円
※中学生以下、障害者手帳をご提示の方及びその介助者（1名）は無料。

主　　催：永青文庫

特別協力：熊本県立美術館、熊本大学附属図書館、ホテル椿山荘東京

※状況により、臨時に休館や開館時間の短縮を行う場合がございます。
※ご来館にあたって事前予約は必要ありませんが、混雑時はお待ちいただく場合がございます。
※当館の感染症予防対策については、ホームページをご覧ください。

見どころ①

永青文庫初！「長谷雄草紙」全巻を一挙に公開します

「長谷雄草紙（はせおぞうし）」（鎌倉～南北朝時代、13～14世紀）は、平安時代の漢学者・紀長谷雄（きのはせお）にまつわる怪異な説話を題材にした絵巻です。江戸時代に徳川将軍家の宝物として秘蔵されていた一巻で、幕末維新期の混乱により長らく所在不明でしたが、昭和に入り、永青文庫の設立者・細川護立（もりたつ）（1883～1970）の所蔵となりました。

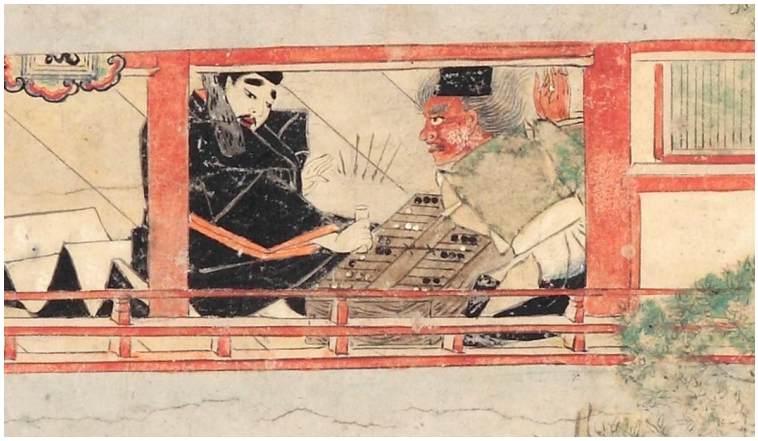
この絵巻に描かれているのは、長谷雄と朱雀門の鬼との双六争い。見事勝利した長谷雄は美女を得ますが、鬼との約束を破って100日を待たずに美女に触れると、たちまち水となって流れ消えてしまうというストーリーです。双六の賽（さい）を振る音が線で表されるなど、今日のアニメや漫画に通じる表現も見受けられます。物語はわずか５段と短く、内容も明快で、室町時代以降の短編小説「お伽草子（とぎぞうし）」の源流を示す貴重な作例とされています。

◆奇想天外なストーリーが「長谷雄草紙」の魅力

①人間の姿をした鬼が長谷雄に双六勝負をもちかける

＼まるで漫画のよう／

②鬼と長谷雄、いざ勝負！



③勝った長谷雄、美女を得る。
100日は美女に触れないことを鬼と約束する。

④約束を破り100日を待たず美女に触れると、
水となって流れ消えてしまう

⑤違約を責め、鬼が長谷雄を襲うが、
北野天神を念じて助かる

流れ消えた女は、死人の良いところを集めてできたもので、100日過ぎれば人間になるところだった

あっ…

見どころ②

他にもたくさんある！永青文庫の絵巻コレクション

永青文庫には、かつて熊本藩士の大矢野家に伝来した「蒙古襲来絵詞（もうこしゅうらいえことば）」（国宝、宮内庁三の丸尚蔵館蔵、鎌倉時代〈13世紀〉）などの中世絵巻の模本や、楽しいストーリーのお伽草子絵巻など、様々な絵巻が伝わっています。本展では、これまであまり公開の機会がなかったコレクションを通して、横長の画面に繰り広げられる物語の世界をたっぷりとご紹介します。

◆知られざる絵巻コレクション

＼白描本（はくびょうぼん）は永青文庫で初公開／

上巻

蒙古襲来絵詞（模本）　文政4年（1821）

文永11年（1274）と弘安4年（1281）の二度にわたる元寇に際して出陣した、肥後国（熊本）の御家人・竹崎季長の戦功を描く。模本である本作は、熊本藩お抱え絵師の衛藤良行・勝夷によって制作された。

下巻

蒙古襲来絵詞（白描本）　寛政9年（1797）頃

「朱」「クロ」「ギン」など色の情報が細かく書き込まれ、現在原本では著しい退色や剥落によって様子が分からなくなっている部分も窺い知ることができる。

三巻

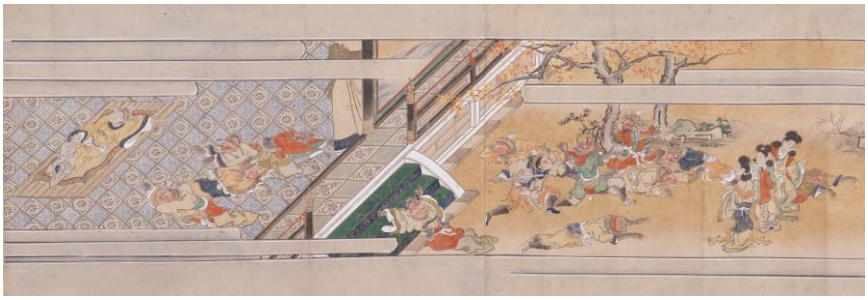
後三年合戦絵巻（模本）　福田太華　天保15年（1844）

平安時代の「後三年の役」を描いた合戦絵巻の模本。熊本藩の絵師・福田太華が、鳥取藩池田家本（重要文化財、東京国立博物館蔵、南北朝時代〈14世紀〉）を借用して模写し、複数の諸本と校合して制作。さらに欠失部分は、流布する詞書を参考に自身で補作までしている。源義家軍が敵の拠点・金沢柵に向かうなか、空を飛ぶ雁の列の乱れを見て、伏兵がいることを察知する場面はよく知られる。

上巻

秋夜長物語絵巻　室町時代（16世紀）

南北朝時代に成立した稚児物語の秀作『秋夜長物語』を題材にした絵巻。比叡山の僧・桂海と三井寺の稚児・梅若との恋が、やがて山門と寺門の争いへと発展。自責の念にかられた梅若は入水し、桂海もそれを契機に発心し、仏道に励んだ。



下巻

申陽洞記絵巻　江戸時代（17世紀）

中国の小説を原拠とした絵巻。李生という弓に長けた若者が山に狩りに行き、猿の首領らしき妖怪を射た。翌朝血の跡をたどって行くと、猿のすむ申陽洞に至り、李生は都の医師であると偽って首領に傷薬ではなく毒を与え、他の猿も宝剣で斬り殺した。そこにとらわれていた長者・銭翁の娘ら3人を救出したことで、李生は一度に３人の妻を得て、一躍家門繁栄したという。

上巻

いはや物語（岩屋物語）　江戸時代（17世紀）

継母の企てが発端となり、岩上に置き去りにされた姫君は、海人夫婦に養われる。その後、二位の中将に見出され、都で妻となり幸せに暮らした。

※すべて永青文庫蔵。すべて部分図。

見どころ③

奈良絵本として最大の冊数を誇る『絵入太平記』を公開

奈良絵本とは、室町時代後期から江戸時代中期にかけて制作された彩色絵入り写本のことを言います。永青文庫が所蔵する『絵入太平記』は、軍記物語『太平記』を奈良絵本化した現存唯一の作品とされています。全83冊と奈良絵本としては最大の冊数を誇り、挿絵も金泥や金箔を用いて豪華です。

絵入太平記　江戸時代（17世紀）　巻九
相模入道田楽をもてあそひ并闘犬の事

絵入太平記　江戸時代（17世紀）　巻八十
細川右馬のかみ西こくより上洛の事

※永青文庫蔵

関連企画、周辺情報

◇記念講演会「絵巻入門―長谷雄草紙をたのしく鑑賞！」

日時：2023年11月25日（土）13：30～15：00
講師：上野 友愛 氏（サントリー美術館 主任学芸員）
会場：日本女子大学　新泉山館2階　201・202教室（東京都文京区目白台1-19-10）
定員：60人（先着順。定員に達し次第、受付を終了。）
参加費：1000円（年間パスポート会員、大学・高校生500円）　※税込。当日、現金でお支払いください。
申込方法：申込フォームまたは往復はがきにてお申込みください。　※詳細は当館のHPでお知らせします。
受付開始：10月7日（土）10：00

◇永青文庫×ホテル椿山荘東京　訪日外国人向け宿泊プランを販売

秋季展の入館チケットや「展示を楽しむ永青文庫オリジナル英語リーフレット」の付いたプランです。
詳細はホテル椿山荘東京のHPでお知らせします。

Partnership with Hotel Chinzanso Tokyo

Hotel Chinzanso Tokyo offers a special package for international tourists that includes admission to Eisei Bunko Museum. Please visit the website of the hotel for further details.

◇肥後細川庭園　秋の紅葉ライトアップ～ひごあかり～

永青文庫に隣接する肥後細川庭園にて開催予定
期間：2023年11月下旬頃　17：00～21：00
※詳細は肥後細川庭園のHPでお知らせします。
お問い合わせ：肥後細川庭園　03-3941-2010

【展覧会に関するお問い合わせ】
公益財団法人 永青文庫
〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1
E-mail：eisei-pr@eiseibunko.com　TEL: 03-3941-0850　FAX: 03-3943-0454
郵送からメール配信への切り替えをご希望の方は、どうぞお知らせください。

細川コレクション　永青文庫 行

Email：eisei-pr@eiseibunko.com　FAX：03－3943－0454

令和5年度秋季展「秘蔵！重要文化財「長谷雄草紙」全巻公開―永青文庫の絵巻コレクション―」
広報画像申請書
2023年10月7日（土）～12月3日（日）

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	ご所属：
TEL：	FAX：
ご住所：〒	
E-mail：	掲載予定日：　　年　　月　　日

掲載概要：（コーナー名、画像の掲載サイズ など）

□読者プレゼント用チケット（5 組10 名様）ご希望の場合はチェックを付けてください。
※2023年11月3日までにご紹介頂ける場合に限らせて頂きます。※チケットはゲラの確認後に送付いたします。

◆ご希望の写真番号に〇を付けてください。

1

重要文化財「長谷雄草紙」（部分）
鎌倉～南北朝時代（13～14世紀）、永青文庫蔵

2

重要文化財「長谷雄草紙」（部分）
鎌倉～南北朝時代（13～14世紀）、永青文庫蔵

3

「秋夜長物語絵巻」（部分）
室町時代（16世紀）、永青文庫蔵

4

「申陽洞記絵巻」（部分）
江戸時代（17世紀）、永青文庫蔵

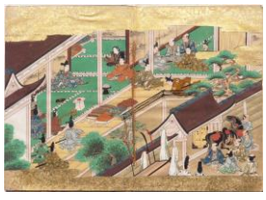
5

「蒙古襲来絵詞（模本）」（部分）
文政4年（1821）、
永青文庫蔵（熊本大学附属図書館寄託）

6

「蒙古襲来絵詞（白描本）」（部分）
寛政9年（1797）頃、
永青文庫蔵（熊本大学附属図書館寄託）

7



『絵入太平記』
江戸時代（17世紀）、
永青文庫蔵（熊本大学附属図書館寄託）

【広報画像ご使用に際してのお願い】
※画像の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせて頂きます。貸与した画像は、使用後速やかに消去願います。
※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。
※掲載誌は1部ご恵贈願います。

【個人情報の取扱いについて】
※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみに使用いたします。
　許可なく第三者に個人情報を開示することはございません。

公益財団法人
永青文庫
EISEI BUNKO MUSEUM

〒112-0015　東京都文京区目白台1-1-1
E-mail：eisei-pr@eiseibunko.com　TEL：03-3941-0850　FAX：03-3943-0454
https://www.eiseibunko.com/